



ご挨拶



平成24年度第一号となるこど も病院だよりを発刊するにあたり、 病院長よりご挨拶申し上げます。

今年は、平年に比べ不順な気

候の続く春でしたが、いつものように常念岳の雪形が現れ、病院の周りの田んぼでは、田植えが行われています。いつものことが、いつものように行われるという自然の営みを肌で感じながら、毎日を過ごすことができることを感謝しております。

さて、本年度は、エコーセンターの新装移転、その 跡地での外来化学療法室の設置、しろくま図書館の 移設など、一階部分の改装が目白押しです。しろくま 図書館の跡地には、こども病院前看護師長であった 赤羽貞子氏に医療相談員をお願いし、医療相談室を 開設しました。一方、塩原血液腫瘍免疫科部長をセンター長として任命し、信州大学検査部から日高惠以 子副技師長に赴任いただき生命科学研究センターを 発足させ、長年の懸案であった研究部門を創設しまし た。今年度の地域医療再生計画で認められた先天性 心疾患胎児スクリーニングも始まります。また、北陸 大学薬学部教授であられた多田昭博先生をお招きし て、薬剤科担当院長補佐に就任いただき、薬剤業務 長野県立こども病院 病院長 原田順和

の効率化を計り、薬剤師の病棟業務への関与をより 一層強化します。いよいよ4月からは、看護部が30 名ほど増員され、懸案であった小児集中治療室の後 方ベッドの開設や新生児集中治療室の増床を予定し ています。

平成5年5月に開院したこども病院も、来年で20周年を迎えることになります。将来的には、総合病院から距離的に離れた独立型のこども病院という構造的な問題を解決していく必要がありますが、従来にも増して、"こども達のために質が高く安全な医療を行います"という理念を実現すべく、職員一同努力してまいる所存であります。こども病院をとりまく社会情勢や環境は、年々変化しています。社会の変化に対応しながら、開院以来変わることなく長野県における小児周産期医療の最後の砦としての役割を果たすことのできるようにすることが、われわれ病院職員に課せられた責務であると考えております。どうか皆様方の、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 24 年 6 月

contents	
ご挨拶	1
こどもの薬	2
遺伝科紹介	2
医療用3D 実体モデル製作開始	3
区原用30 关件 [7] / 表下開知	U

こどもの薬

院長補佐(薬局担当) 多田 昭博



一般病院では、錠剤・カプセル 剤が増えて、散薬を分包する機械 が発する独特の音(金属に付着し ている粉薬を叩き落としている音) を聞くことも少なくなってきました。 ところが、こども病院の場合、薬

局内では終始、散薬分包機の音がしています。散薬の占める割合が圧倒的に高く、また、水剤・シロップ剤の割合も多いのです。薬剤師はこれを正確に、慎重に調剤しています。例えば、水薬・シロップを量るためには通常、メスシリンダーを使うのですが、こども病院では重量を量ります。あらかじめ比重を測定しておき、この薬剤の○○mL量るのであれば、重量は○○×比重



=△△グラムであると計算し、電子天秤で量るのです。 この方法なら、少量でも正確に量ることができます。

また、本来は大人用の錠剤やカプセル剤などを小児に使うことが多いのですが、量的に不適切なことが多く、また小さな子どもはうまく飲めません。やむを得ず、錠剤をつぶして粉にしたり、カプセル剤の中身を取り出したりして、粉薬として調剤します。非常に手間のかかる仕事ですが、注意深く丁寧に調剤をしています。

ところで、ある調査によれば、小児薬物治療に必要な薬であるにもかかわらず、添付文書に小児に対する用法や用量の記載がない薬が、処方薬全体の実に7割程度を占めている、といわれています。患者数が少なく、使用量も少ないために、開発コストに見合った利益が得にくいことから、製薬企業は消極的なためだといわれています。こんな現状を打開し、有効で安全な薬を子どもたちに届ける努力が必要です。これを「治験」といいます。くすりを使うために必要な臨床試験のことですが、現在、日本中の小児専門医療機関が共同してネットワークを作り、これに取り組み始めており、本院も参加しております。医療現場は子どもに合った剤形の開発と、用法・用量の明示を切望しています。

遺伝科紹介

遺伝科部長 西 恵理子



長野県立こども病院の遺伝科は日本の小児専門病院で5番目の平成14年に開設され、各診療科の先生のご理解・ご協力のもと長野県の小児遺伝医療を担ってまいりました。

平成21年4月より川目裕医師がお茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専 攻遺伝カウンセリングコースへ異動となり、平成21年 から平成23年の3年間は非常勤体制(川目裕医師、 信州大学遺伝子診療部より古庄知己医師、鳴海洋子 医師)により継続・運営してまいりました。

平成24年4月より遺伝科に赴任し非常勤医師(古 庄医師、鳴海医師)の協力をいただいて、認定遺伝 カウンセラー(荒川経子;患者支援・地域連携室兼任) とともにこども病院の遺伝医療の継続・充実を目指していきたいと思います。

先天異常症の患者さまの診断・告知、染色体異常症などの患者さまの健康管理、次のお子さんのご相談に来られるご両親の遺伝カウンセリングなど遺伝科が関わらせていただく場面、機会は多彩です。急性期の治療などとは一呼吸おいた別の場面でお子さんの疾患や状況をともに理解する場を提供することも一つの大事な役割と考えています。

おひとりおひとり、ご家族ご家族で必要とされる時機や状況は異なります。各診療科の先生方と協力して柔軟に対応していきたいと思っています

各部門スタッフの協力のもとダウン症グループ外来 も11年目を迎えました。参加希望等ございましたら 患者支援・地域連携室へお問い合わせください。

医療用3D実体モデル製作開始!

画像等手術支援加算の算定可能(2,000点) 術式により算定できない場合があります

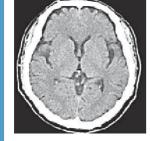
院外受注始めます 14 15,000 円 (税別)

【術前シミュレーション、患者様への説明、医療従事者への教育等、用途は無限に拡がります】

DICOM データ

STL データ

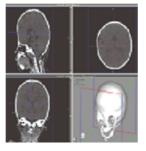
実体石膏模型



CT image

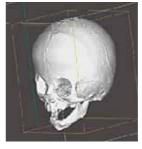
造形の流れ

※ CT transaxial 画像 患者様のオリジナル CT 画像を使用する (DICOM 形式)



ZedView®

※3次元再構築ソフト ウェア造形に必要な部 分のデータのみを抽出 する



Z-Printer®

※3次元プリンタ 石膏パウダーの層にイ ンクジェットのヘッド より接着剤を塗布しー 層ずつ造形する



Complete!

※3次元実体石膏モデル コーティングを施し、 十分な強度をもたせ た後に完成







★造形に必要なCT画像データに関して、以下の条件を満たす必要があります。

- ・CT transaxial 画像のファイルフォーマットは DICOM でお願いします。
- ・スライス厚、スライス間隔は 1mm 以下を推奨します。
- ・スライス画像の再構成関数は骨条件でお願いします。
- ・画像データの受渡しに使用するメディアは CD-R、DVD-R でお願いします。
- ・製作可能な造形サイズは横幅(10 インチ)×奥行(8 インチ)×高さ(8 インチ) ・ 製作可能な造形サイズは横幅(10 インチ)×奥行(8 インチ)×高さ(8 インチ)
- ・受注から納品まではおよそ 1 ~ 2 週間を目安としております。

3Dモデル造形センター

センター長 野口昌彦 造形責任者 岩原 進 担 当 者 長岡重之 佐野 稔

お問い合せ

0263-73-6700 内線 (1511)

3

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成24年6月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	外本石	力唯口				藤岡 文夫 (AM)
南棟外	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) *1	藤岡 文夫加藤 博之	松原 光宏 (AM)	松原 光宏 (PM)
	小児外科		岩出 珠幾 (AM) **2 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	町田 水穂 (AM) 好沢 克 (PM)	町田 水穂 (AM) 岩出 珠幾 (PM)
	眼科	視能訓練 非常勤*3	視能訓練	視能訓練	視能訓練 (AM) 北原 博 (5/10)	視能訓練 北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成 笠井 正志*4	樋口 司	南 希成 (AM) 樋口 司 (PM)	笠井 正志	樋口 司 (AM)
	血液腫瘍免疫科 免疫・アレルギー外来	南雲 治夫			南雲 治夫	
来	血液腫瘍免疫科 ^{血液・腫瘍外来}	塩原 正明	倉田 敬 (AM)	塩原 正明 倉田 敬		塩原 正明 (AM)
	血液腫瘍免疫科 內分泌·代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	竹内 浩一 (AM)
	循環器科 (內科·外科)	小坂 由道 (AM) 坂本 貴彦 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧聞 浄宏 (內科)	坂本 貴彦 (AM) 原田 順和 (AM) 小坂 由道 (AM) 手術説明 (PM) (外科)	安河内 聰 田澤 星一 (內科)	瀧聞 浄宏 田澤 星一 (內科)
	リハビリ テーション科					笛木 昇 (AM)
	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐 (PM)		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来		下記*5			
	神経小児科	平林 伸一*6 福山 哲広	平林 伸一*6 福山 哲広 (PM) 奥野 慈雨 (AM)	平林 伸一 平野 悟	奥野 慈雨 (AM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋*7
	新生児科	中村 友彦 三代澤幸秀	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
北棟外	形成外科	野口 昌彦 柴 將人 (AM) 杠 俊介 (PM)	安永 能周 **8	野口 昌彦 杠 俊介	野口 昌彦 (PM)	野口 昌彦 (PM) 藤田 研也 (PM) 杠 俊介 (PM)
外	麻酔科	大畑 淳 (AM)				
来	皮膚科			芦田 敦子 (AM)		
	精神科 こころの診療科				原田 謙 (PM) *9	
	遺伝科	古庄 知己* 10	西恵理子	西 恵理子	西 恵理子 鳴海 洋子 (PM)	西恵理子
	耳鼻咽喉科		下記*11		出浦美智枝	
	循環器小児科 胎児心臓外来		松井 彦郎 (PM) 田澤 星一 (PM)		瀧聞 浄宏 (PM)	安河内 聰 (AM)
	産科	吉田 志朗 (AM) 髙木紀美代 小松 篤史 (PM)	髙木紀美代 小松 篤史	吉田 志朗 髙木紀美代	吉田 志朗 小松 篤史	髙木紀美代 小松 篤史
	リハビリ テーション科	笛木 昇 河野 千夏* 12	笛木 昇 河野 千夏 (AM)	笛木 昇	三澤 由佳 (AM) 原田由紀子	河野 千夏

- 整形外科の高橋医師は第2週のみ診察となります。 **%**1
- ※2 小児外科の岩出医師は、第1、3、5週です。
- ※3 6/4・18の診察日となります。
- ※4 月曜日の笠井医師は、予防接種外来になります(午後のみ)。
- ※5 泌尿器科 午前 週によって、医師が異なります。

午後 皮膚・排泄ケア外来は、第1、5週で西澤医師の診察日となります。

- ※6 月・火曜日の午後 平林医師は発達障害専門外来です。
- ※7 第2・4週は午前・午後、第1・3・5週は午後のみの診察となります。
- ※8 火曜日の安永医師は第4週の午前のみ診察となります。
- ※9 精神科(こころの診療科)外来の初診は、受付しておりません。
- ※10 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。
- ※11 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。
- ※12 リハビリテーション科の河野医師は午前11時までの診察となります。

★診察時間:午前9時~午後4時

★休診日: 土・日曜日、祝祭日、年末年始 ★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話 0263-73-5300